

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 —  
 コード番号 — URL <https://www.kaiho-bank.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 上地 英由  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長 (氏名) 新城 一史 TEL (098)867-2112  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,949	△1.1	1,682	43.7	1,123	37.9
2020年3月期第3四半期	10,063	△1.3	1,170	△43.5	814	△45.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 855百万円 (25.5%) 2020年3月期第3四半期 681百万円 (△11.6%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期第3四半期	331	12	—	—
2020年3月期第3四半期	240	01	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2021年3月期第3四半期	844,706		43,818		5.1	
2020年3月期	740,435		43,133		5.8	

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 43,787百万円 2020年3月期 43,100百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
2020年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	520	△60.3	270	△66.5	79	57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期第3Q	3,400,000 株	2020年3月期	3,400,000 株
2021年3月期第3Q	7,352 株	2020年3月期	7,135 株
2021年3月期第3Q	3,392,760 株	2020年3月期第3Q	3,393,007 株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
3. 補足情報	6
(1) 損益の概況【単体】	6
(2) 資産・負債の状況	【単体】 7 ~ 9
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示【単体・連結】	9 ~ 10
(4) 自己資本比率（国内基準）	【単体・連結】 10
(5) 時価のある有価証券の評価差額	【単体】 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)の経営成績について、経常収益は、貸出金利息は増加しましたが、貸倒引当金戻入益や有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比1億13百万円減少の99億49百万円となりました。経常費用は、営業経費が減少したことなどにより、前年同期比6億25百万円減少の82億67百万円となりました。

結果、経常利益は、前年同期比5億12百万円増加の16億82百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比3億9百万円増加の11億23百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(2020年12月31日)の連結財政状態について、総資産は、前連結会計年度末比1,042億71百万円増加の8,447億6百万円、純資産は、前連結会計年度末比6億85百万円増加の438億18百万円となりました。

主要勘定として、貸出金は、消費者ローンは減少しましたが、事業性貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比166億39百万円増加の5,481億95百万円となりました。

預金は、個人預金および法人預金、公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比738億68百万円増加の7,651億46百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比14億16百万円増加の1,397億56百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想は、2020年5月14日に公表した数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	48,558	131,605
コールローン及び買入手形	435	1,014
有価証券	138,340	139,756
貸出金	531,556	548,195
外国為替	437	1,397
その他資産	11,697	11,967
有形固定資産	8,718	8,453
無形固定資産	1,533	1,212
退職給付に係る資産	339	348
繰延税金資産	1	3
支払承諾見返	664	2,576
貸倒引当金	△1,847	△1,822
資産の部合計	740,435	844,706
<b>負債の部</b>		
預金	691,277	765,146
借入金	—	30,000
外国為替	50	108
その他負債	3,724	1,948
賞与引当金	360	142
退職給付に係る負債	656	314
役員退職慰労引当金	181	209
睡眠預金払戻損失引当金	48	43
利息返還損失引当金	13	13
偶発損失引当金	101	127
繰延税金負債	221	255
支払承諾	664	2,576
負債の部合計	697,301	800,887
<b>純資産の部</b>		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	32,845	33,798
自己株式	△25	△26
株主資本合計	40,576	41,529
その他有価証券評価差額金	2,589	2,312
退職給付に係る調整累計額	△64	△54
その他の包括利益累計額合計	2,524	2,258
非支配株主持分	32	30
純資産の部合計	43,133	43,818
負債及び純資産の部合計	740,435	844,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	10,063	9,949
資金運用収益	8,067	8,046
(うち貸出金利息)	7,324	7,380
(うち有価証券利息配当金)	720	631
役務取引等収益	947	948
その他業務収益	86	32
その他経常収益	961	922
経常費用	8,893	8,267
資金調達費用	137	107
(うち預金利息)	154	106
役務取引等費用	933	866
その他業務費用	0	2
営業経費	7,520	6,876
その他経常費用	300	413
経常利益	1,170	1,682
特別利益	—	3
固定資産処分益	—	3
特別損失	82	110
固定資産処分損	36	6
減損損失	46	104
税金等調整前四半期純利益	1,087	1,575
法人税、住民税及び事業税	87	291
法人税等調整額	186	162
法人税等合計	274	453
四半期純利益	813	1,121
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	814	1,123

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	813	1,121
その他の包括利益	△131	△266
その他有価証券評価差額金	△82	△276
退職給付に係る調整額	△49	10
四半期包括利益	681	855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	682	857
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 損益の概況

##### ○経常収益

貸出金利息は増加したものの、貸倒引当金戻入益や有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比1億12百万円減少の99億24百万円となりました。

##### ○コア業務純益

経費の減少などによって、前年同期比5億2百万円増加の8億84百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2019/12期 (9ヶ月間)	2020/12期		21/3期予想 (12ヶ月間)
		(9ヶ月間)	2019/12期比	
<b>1 経常収益</b>	<b>10,036</b>	<b>9,924</b>	<b>△112</b>	
<b>2 業務粗利益</b>	<b>8,000</b>	<b>8,020</b>	<b>20</b>	
3 資金利益	7,930	7,938	8	
4 役務取引等利益	△16	52	68	
5 その他業務利益	85	29	△56	
6 経費(除く臨時処理分)	7,549	7,114	△435	
7 人件費	3,709	3,596	△113	
8 物件費	3,291	3,025	△266	
9 税金	548	492	△56	
<b>10 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)</b>	<b>450</b>	<b>906</b>	<b>456</b>	<b>370</b>
11 コア業務純益(注1)	382	884	502	270
12 除く投資信託解約損益	382	884	502	
13 一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—	
<b>14 業務純益</b>	<b>450</b>	<b>906</b>	<b>456</b>	<b>290</b>
15 うち国債等債券損益(5勘定戻)	68	21	△47	
16 臨時損益	729	786	57	
17 株式等損益(3勘定戻)	539	563	24	
18 不良債権処理額 ②	166	154	△12	
19 貸出金償却	50	39	△11	
20 個別貸倒引当金繰入額	—	—	—	
21 偶発損失引当金繰入額	19	25	6	
22 その他の債権売却損等	96	89	△7	
23 貸倒引当金戻入益(注) ③	222	1	△221	
24 償却債権取立益 ④	43	81	38	
25 偶発損失引当金戻入益 ⑤	—	—	—	
26 その他臨時損益	91	295	204	
<b>27 経常利益</b>	<b>1,180</b>	<b>1,693</b>	<b>513</b>	<b>520</b>
28 特別損益	△82	△107	△25	
29 固定資産処分損益	△36	△2	34	
30 減損損失	46	104	58	
31 税引前四半期純利益	1,097	1,585	488	
32 法人税・住民税及び事業税	87	290	203	
33 法人税等調整額	189	164	△25	
34 法人税等合計	276	454	178	
<b>35 四半期(当期)純利益</b>	<b>820</b>	<b>1,130</b>	<b>310</b>	<b>270</b>
(ご参考)				
<b>36 与信関係費用(①+②-③-④-⑤)</b>	<b>△98</b>	<b>72</b>	<b>170</b>	<b>300</b>

(注) 1. 「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益(5勘定戻)を除く業務純益。

2. 貸倒引当金戻入益の内訳：一般貸倒引当金戻入益 △20百万円、個別貸倒引当金戻入益 22百万円

### 3. 補足情報

#### (2) 資産・負債の状況

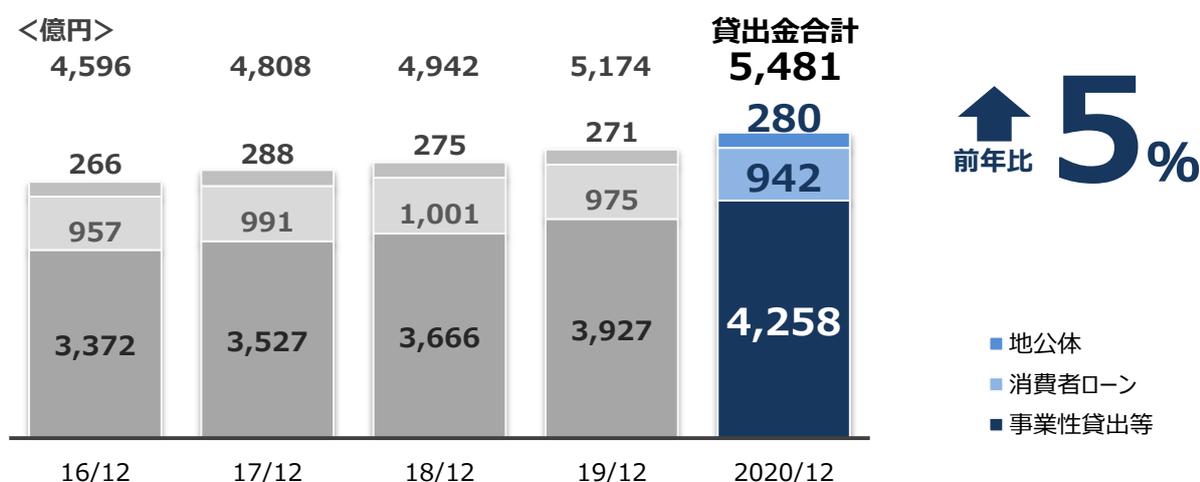
##### ① 貸出金

新型コロナウイルス感染症関連融資制度への対応により事業性貸出が増加したことなどから、前年同期比307億66百万円増加の5,481億95百万円となりました。平均残高は377億69百万円増加の5,371億54百万円となりました。

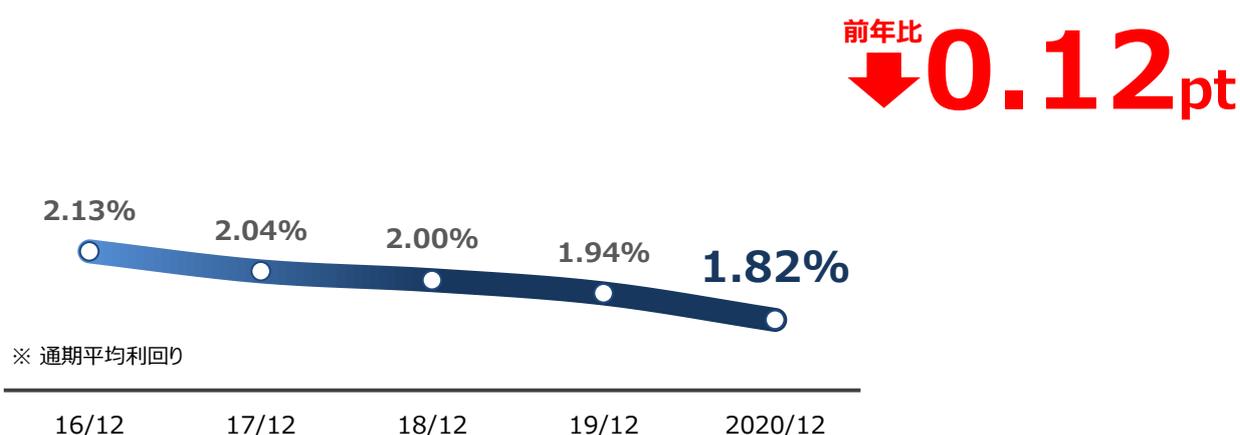
(単位：百万円)

単体	2019/12期末	2020/3期末	2020/12期末		
				19/12期末比	20/3期末比
貸出金（期末残高）	517,429	531,556	<b>548,195</b>	30,766	16,639
事業性貸出等	392,746	400,369	<b>425,850</b>	33,104	25,481
消費者ローン	97,513	97,245	<b>94,253</b>	△3,260	△2,992
住宅ローン	72,553	72,087	<b>70,352</b>	△2,201	△1,735
地方公共団体	27,168	33,940	<b>28,090</b>	922	△5,850
貸出金（平均残高）	499,385	504,269	<b>537,154</b>	37,769	32,885

##### 単体 貸出金（期末残高）の推移



##### 単体 貸出金利回りの推移



### 3. 補足情報

#### (2) 資産・負債の状況

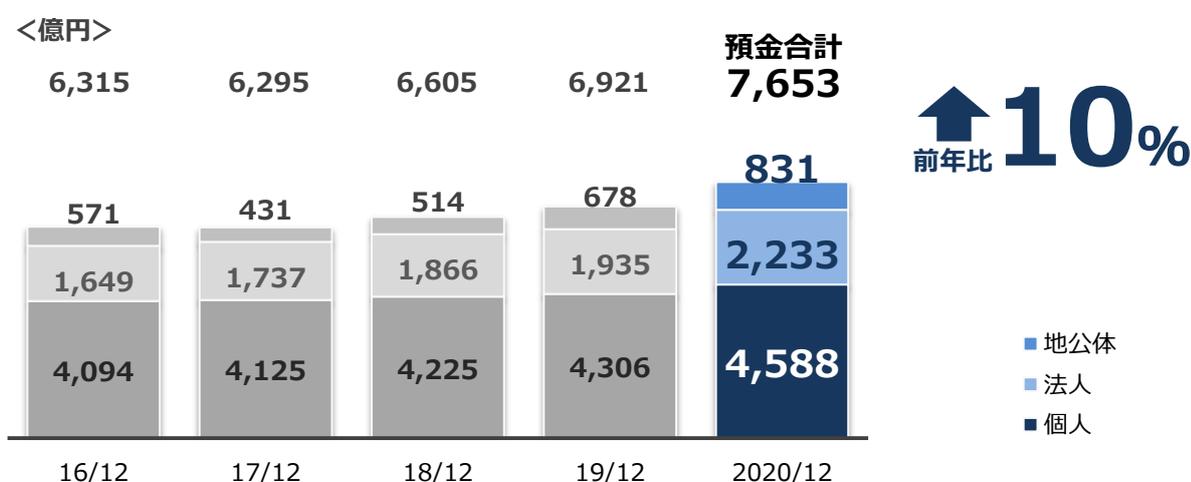
##### ②預金

預金残高は、個人預金および法人預金、公金預金が増加したことから、前年同期比731億76百万円増加の7,653億7百万円となりました。平均残高は521億66百万円増加の7,368億71百万円となりました。

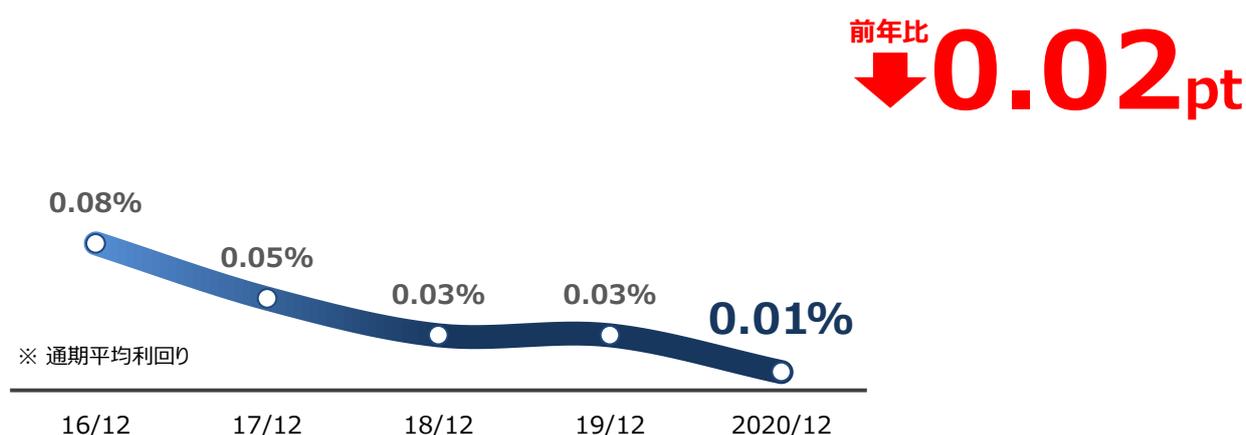
(単位：百万円)

単体	2019/12期末	2020/3期末	2020/12期末	2020/12期末	
				19/12期末比	20/3期末比
預金（期末残高）	692,131	691,423	<b>765,307</b>	73,176	73,884
個人	430,684	427,526	<b>458,809</b>	28,125	31,283
法人	193,562	193,506	<b>223,383</b>	29,821	29,877
地方公共団体その他	67,884	70,390	<b>83,113</b>	15,229	12,723
預金（平均残高）	684,705	683,951	<b>736,871</b>	52,166	52,920

#### 単体 預金（期末残高）の推移



#### 単体 預金利回りの推移



### 3. 補足情報

#### (2) 資産・負債の状況

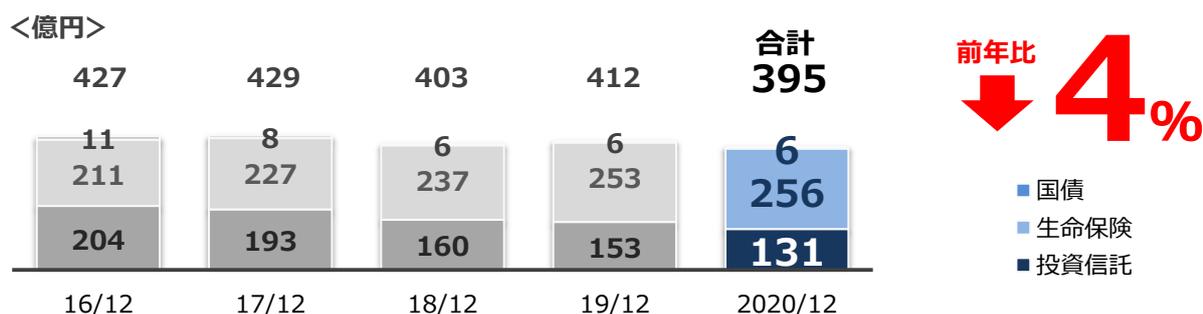
##### ③ 預かり資産

預かり資産残高は、生命保険は増加しましたが、投資信託が減少したことなどから、前年同期比17億53百万円減少の395億19百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2019/12期末	2020/3期末	2020/12期末	2020/12期末比	
				19/12期末比	20/3期末比
預かり資産	41,272	38,545	39,519	△1,753	974
投資信託	15,327	12,667	13,176	△2,151	509
生命保険	25,330	25,240	25,661	331	421
国債	614	636	681	67	45

##### 単体 預かり資産（期末残高）の推移



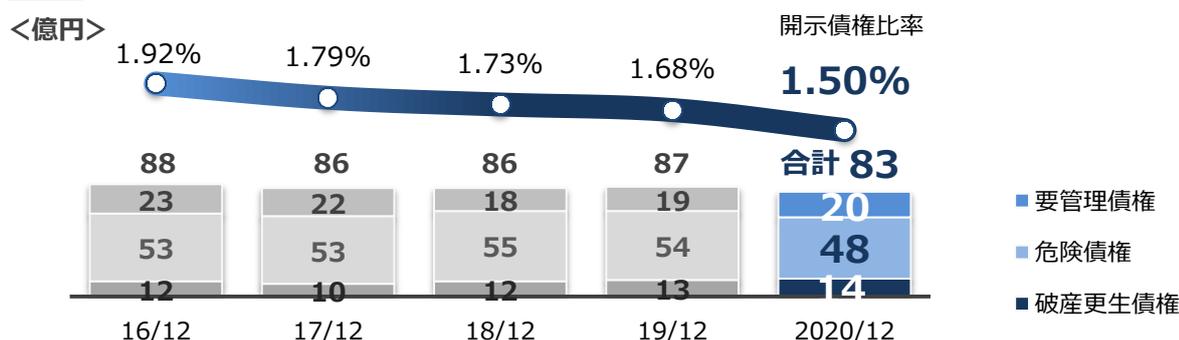
#### (3) 金融再生法ベースの категорияによる開示

金融再生法開示債権は、前年同期比4億51百万円減少の83億6百万円となりました。開示債権比率は前年同期比0.18ポイント低下の1.50%となりました。

(単位：百万円)

単体	2019/12期末	2020/3期末	2020/12期末	2020/12期末比	
				19/12期末比	20/3期末比
金融再生法開示債権	8,757	9,436	8,306	△451	△1,130
破産更生債権	1,338	1,636	1,470	131	△166
危険債権	5,489	5,691	4,833	△655	△858
要管理債権	1,929	2,108	2,002	72	△106
正常債権	511,805	523,205	542,916	31,111	19,711
総与信額	520,562	532,642	551,223	30,660	18,581
開示債権比率	1.68%	1.77%	1.50%	△0.18%	△0.27%

##### 単体 金融再生開示債権の推移



### 3. 補足情報

#### (3) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示

(単位：百万円)

連結	2019/12期末	2020/3期末	2020/12期末	2020/12期末	
				19/12期末比	20/3期末比
金融再生法開示債権	8,757	9,436	8,306	△451	△1,130
破産更生債権	1,338	1,636	1,470	131	△166
危険債権	5,489	5,691	4,833	△655	△858
要管理債権	1,929	2,108	2,002	72	△106
開示債権比率	1.68%	1.77%	1.50%	△0.18%	△0.27%

(注) 上記の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類しております。

#### (4) 自己資本比率（国内基準）

単体	連結	2019/9期末	2020/3期末	2020/9期末	2021/3期末 (予想)
① 自己資本比率【単体】		8.22%	8.14%	8.38%	8%程度
② 自己資本比率【連結】		8.22%	8.16%	8.40%	8%程度

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

#### (5) 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

単体	2019/12期末		2020/3期末		2020/12期末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
	139,642	6,144	136,776	3,676	138,169	3,265
株 式	4,018	1,406	3,431	791	2,866	775
債 券	127,794	1,652	127,340	1,248	131,171	1,113
そ の 他	7,830	3,085	6,004	1,636	4,131	1,376

(注) 1. 「評価差額」は、各中間期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。  
2. 満期保有目的の債券は保有しておりません。